



『渡邊美樹の超常思考 勝つまで戦う』
著者：渡邊美樹
出版社：講談社
価格：1050円（税込み）

長期的・多面的・根本的

ワタミ会長兼CEOの渡邊美樹が経営者の枠を抜け出し、若者のヒーロー的存在になったのは、いつ頃からだろう。今では「渡邊美樹Juni」という個人サイトまで立ち上げ、八面六臂の活躍ぶりを発信している。発言や行動が共感を呼ぶのは、それらがいずれも強烈な正義感に根差したものだからだ。

本書は「政治」「経営」「お金」「仕事」「価値観」「教育・福祉」「夢」という7つの章からなる。経営には直接関係ない話もあるが、渡邊がどんなことを正義と考えているかを理解するには多面的なアプローチのほうがいい。本人もこう言う。

「よく『会社経営で大事なものは、どんなことですか?』と質問されます。私がモットーとしているのは、

『長期的・多面的・根本的』に物事を考え、判断することです。これは学生時代に読んだ、東洋思想家の安岡正篤先生の著書に出てくる『思考の三原則』をお手本にしたものです」

「短期的・二面的・表面的」に考えるから信念が揺らぐ。自分の中に確固たる軸を作り、どんな逆境でも貫いていく。その積み重ねが時代を超える力を生み出すという。だから「時代に合わせた経営」というのを意識したことは、一度もありません」と、渡邊は断言する。

クリスチャンをやめた理由、総理公選制になれば出馬する理由などにも触れているが、どれも考え方が首尾一貫していて面白い。

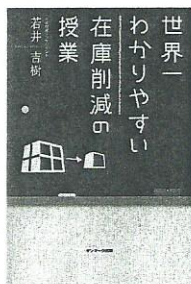
(文中敬称略)



『魂の中小企業』
著者：中島 隆
出版社：朝日新聞出版
価格：861円（税込み）

不撓不屈の心意気

「下請けの分際で」と見下した元請けと手を切ったばねメーカー。自社工場がもらい火で炎に包まれる中、「約束した部品を作らねば取引先に迷惑がかかる」と仮工場のあてを探した部品メーカー——。そんな気骨ある中小企業経営者の姿を描く。美しい成功談ではない、生々しい苦闘から経営とは、経営者とは何かを問い掛ける。



『世界一わかりやすい在庫削減の授業』
著者：若井吉樹
出版社：サンマーク出版
価格：1470円（税込み）

コスト削減の近道

在庫削減のコツや手順が学べ、すぐに実践に生かせる入門書。例えば、商品を上上げの高い順に並べ、上位の商品の在庫管理には手間をかけ、下位の商品には極力手をかけずにメリハリを付けるといい。「無理に売り上げ拡大を狙わなくても、在庫削減で利益やキャッシュを生み出せる」と在庫削減コンサルタントの著者は言い切る。



『なぜ社長の話はわかりにくいのか』
著者：武田斉紀
出版社：PHP研究所
価格：1365円（税込み）

話題は同じでいい

社長の思いが社員に届かないのは一度にあまりにたくさんを伝えようとしているから。人間の記憶力には限界があり、一回に多くのことを覚えられない。社長は会社として何を大切に、何を指すかに絞って繰り返し語るべきと説く。朝礼も毎日テーマを変える必要はなく、話の落としどころは常に「企業理念」で構わないという。